

宇部港湾・空港整備事務所からのお知らせです

『第2回 徳山下松港・宇部港における石炭サプライチェーンの継続に関する検討会』を開催しました

～11月18日 ザ・グラマシーにて開催～

今後起こりうる大規模災害や、事故・テロといったあらゆる事象においても、石炭や石炭を燃料として製造される製品の物流（石炭サプライチェーン）を継続させるため、平常時及び災害時における具体的連携施策についての有識者検討会を開催しました。

第2回目となる本検討会では、より具体的な連携の仕組みを提案し、災害を想定した机上演習を実施しました。



今回提案された連携施策の中でも、産炭国から石炭を直接輸入している需要家へのバックアップ支援は非常に重要です。

今回行う机上演習は、通常の検討会には無い新しいチャレンジ。これを機にさらに連携を深めて頂きたい。



中国地方整備局 鈴木港湾空港部長

座長の山口大学 副学長 三浦教授

参加者をプレイヤー（石炭取扱企業7社）とコントローラー（行政関係・港運業者等）に分けて、港湾施設が使えないという条件下において、連携施策のない現状と連携体制が構築されている場合を想定し、どのような対応の違いがあるかをロールプレイング方式で実施しました。



机上演習の様子



次回は、平成29年2月3日東京にてシンポジウムを開催予定です。